

# 当院におけるクリニカルパス 使用方法の実態と今後の課題

一般財団法人積善会 十全総合病院  
石村原校



## はじめに

2004年 クリニカルパス委員会発足

▶▶▶ マニュアル作成・運用規定

バリエーション発生時、マニュアル  
通り対応できていない

患者がパスの説明を  
受けていない

看護師のパスの使用方に  
個人差あり？



## 当院の紹介



新居浜市の中心部に位置

- ★ 病床数(一般・療養) 350床
- ★ 診療科 23科
- ★ 平均在院日数 18.4日
- ★ パス件数 53件

平成27年7月現在



## 研究目的

当院のパス使用方法の実態を明らかにし、  
効果的なパスの運用につなげる。

## 研究方法

- ・研究対象 当院に病棟勤務する助産師、看護師、  
准看護師(師長、主任除く)112名
- ・調査期間 2013年2月～3月
- ・データ収集方法 対象者に質問紙を配布  
パス使用法は選択回答式  
バリエーション発生時の対応は自由記述
- ・分析方法 選択回答式の項目は単純集計  
自由記述は類似性により分類



## 倫理的配慮

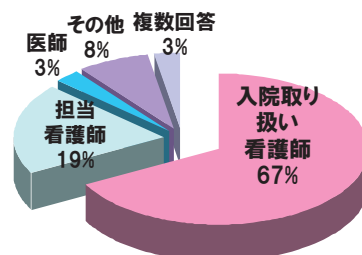
当院の看護部倫理委員会による承諾  
対象者に本研究の目的・趣旨を文書に明記し説明  
途中撤退可能、調査データの無記名制による匿名性を  
保障し、個人のプライバシー保護を約束  
研究結果を院内・院外で発表する旨を説明

## 結果・考察

質問紙配布数: 112名  
回収数: 104名(回収率92.9%)



## パスの説明を最初に行うのは誰か

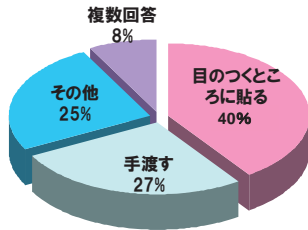


マニュアルでは「原則として主治医が説明」となっている

現状の運用に合わせ、マニュアルを改正



## 患者用パスをどのように渡しているか

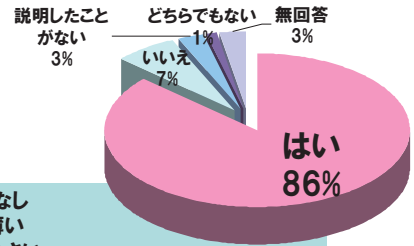


パスが目につかない所に保管されている  
確認が困難、看護師も説明を忘れてしまう

患者の状態に合わせて、パスの渡し方、保管方法を考慮



## 患者用パスは説明しやすいか

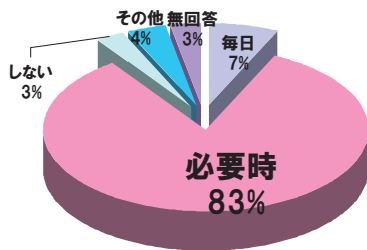


貼りっぱなし  
内容が薄い  
文字が小さい  
患者にパス自体が理解されにくい

十分な説明(パス自体・日々のスケジュール)  
パスの見直し



## 日々のパスの説明はいつ実施

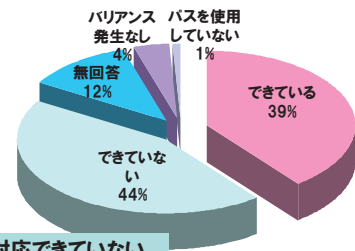


追加での説明をしない、パスが見えない所にある

説明のタイミングを検討、パスを見えるところに保管



## バリエーション発生時にマニュアル通りの対応



マニュアル通りに対応できていない

「医師及びチームの判断で治療内容の変更を行なう」  
「医師記録、経過記録に記入」  
バリエーション評価を行なう



## バリエーション発生時の患者への説明

- 看護師 15名
- 医師 2名
- 医師・看護師 2名
- 患者に聞かれば 2名 **不十分**
- できていない 11名
- バリエーションなし 6名
- パス使用機会なし 1名

患者はパス通り経過していないと不安

医師、看護師からの十分な説明



## パス勉強会の内容

- パスの基本
- バリエーション発生時の対応方法
- バリエーション評価の方法
- 患者用パスを活用するよう周知
- パス委員会の活動内容報告



## パス勉強会の様子



## パス委員の取り組み

マニュアルの改正

用語の手引きの改正

パス勉強会



継続

ご清聴  
ありがとうございました